

# 自治体のスマートフォンアプリ 活用実態\_2023

自社調査：株式会社G-Place

## 調査方法・注意事項

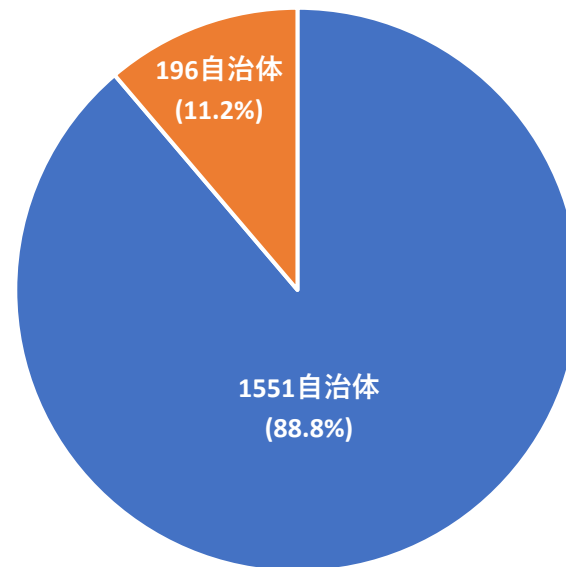
- ✓ 全国1,747の市区町村が公開しているホームページ内で、自治体公式として紹介されているスマートフォンアプリ（または準ずるサービス）を抽出し、アプリ配信数として集計しています。  
※調査時期：2023年7月25日から9月20日
- ✓ 本資料では2022年末までの集計結果を掲載しています。
- ✓ 一つのアプリ内に複数市区町村の情報がある場合、それぞれの市区町村がアプリ内で情報を発信しているものとして集計しています。
- ✓ 本資料で市区町村が提供しているアプリを「自治体アプリ」と呼称しています。
- ✓ 本資料の掲載情報は株式会社G-Placeが独自に調査したものであり、正確性、妥当性、適時性もしくは完全性について保証をするものではありません。

# 自治体のアプリの配信割合

- ✓ 全国1,747の市区町村のうち約88.8%が何かしらの分野でアプリを配信しており、アプリを配信していない市区町村は少数派となっている。

## 自治体のアプリ配信割合

■ 配信している ■ 配信していない

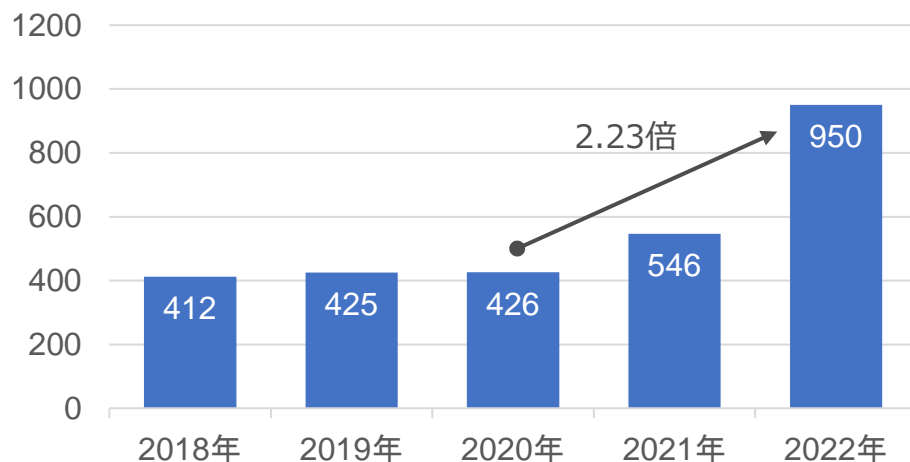


2022年末までの集計

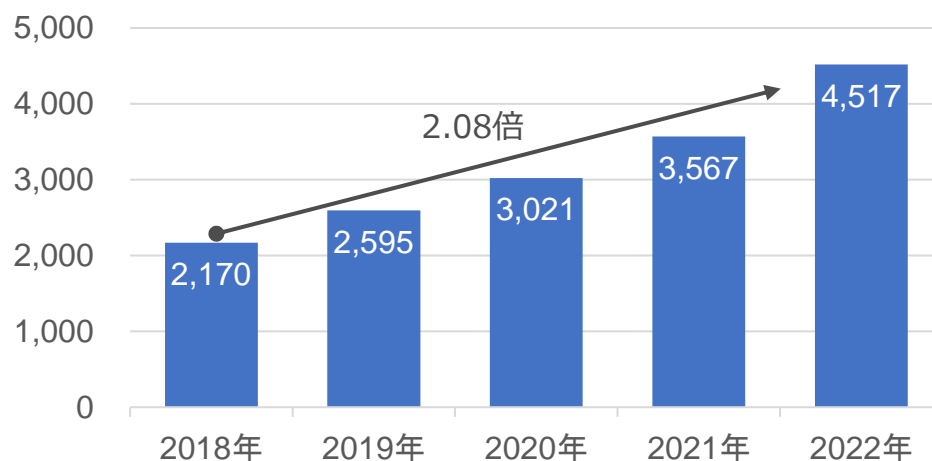
# 自治体のアプリ配信件数の推移

- ✓ 自治体アプリの新規配信件数は、2020年から2022年の2年間で2.23倍になっている。
- ✓ 自治体アプリの累計配信件数は、2018年から2022年の5年間で2.08倍になっている。
- ✓ 配信件数の増加の背景には2020年に総務省が「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」を示したことでDXの意識が高まったことが考えられる。

## 新規アプリ配信件数



## 累計アプリ配信件数

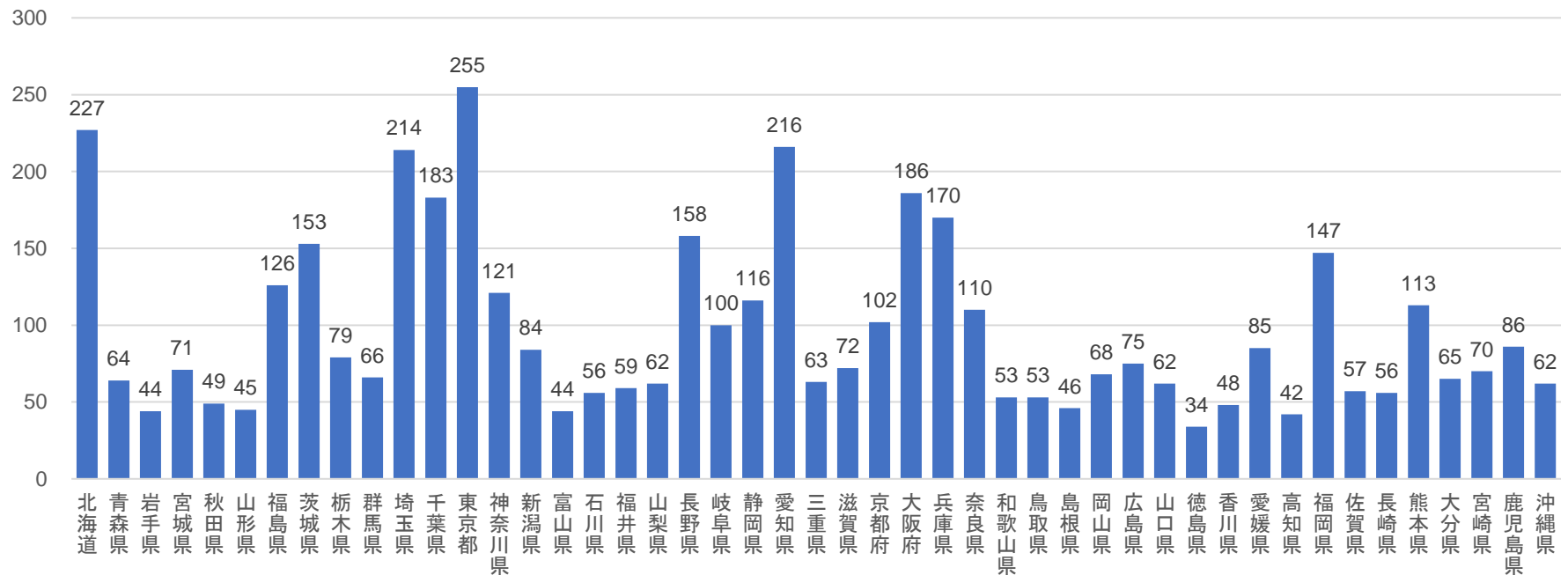


2022年末までの集計  
リリース時期不明・配信停止のアプリを除く

# 都道府県別累計アプリ配信数

- ✓ 都道府県別の累計アプリ配信件数は、東京都（255件）、北海道（227件）、埼玉県（214件）、愛知県（216件）、大阪府（186件）の順が多い。

都道府県別累計アプリ配信件数（2022年末まで）



2022年末までの集計  
リリース時期不明・配信停止のアプリを除く

# 過去2か年の都道府県別アプリ配信件数

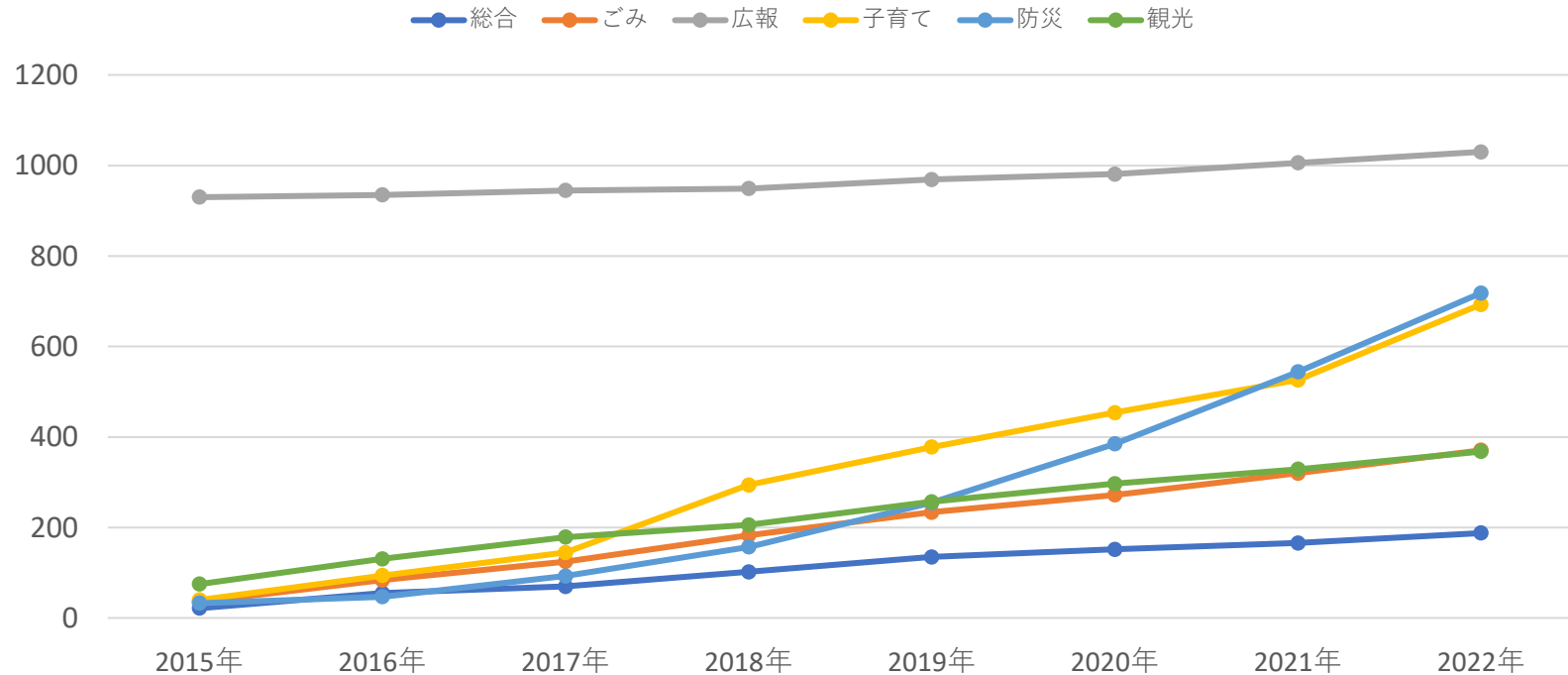
- ✓ 累計配信数を2018年と2022年で都道府県ごとに比較すると、山形県（3.46倍）、徳島県（3.09倍）、茨城県（3.00倍）香川県（3.00倍）、三重県（2.74倍）の順に高い増加傾向を示している。また、47都道府県の68.09%にあたる32都道府県で、2倍以上増加している。

都道府県	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
2018年時点	139	36	25	28	29	13	61	51	48	30	103	93	126	83	38	27
2022年時点	227	64	44	71	49	45	126	153	79	66	214	183	255	121	84	44
2018年比	1.63	1.78	1.76	2.54	1.69	3.46	2.07	3.00	1.65	2.20	2.08	1.97	2.02	1.46	2.21	1.63
順位	43	36	37	10	40	1	30	3	42	23	28	33	32	47	22	44
都道府県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
2018年時点	27	29	26	61	53	43	101	23	49	69	80	67	46	31	22	17
2022年時点	56	59	62	158	100	116	216	63	72	102	186	170	110	53	53	46
2018年比	2	2	2	3	2	3	2	3	1.47	1.48	2.33	2.54	2.39	1.71	2.41	2.71
順位	29	31	13	8	34	7	25	5	46	45	18	9	12	39	11	6
都道府県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2018年時点	29	32	29	11	16	38	24	63	27	25	67	30	31	48	26	2,170
2022年時点	68	75	62	34	48	85	42	147	57	56	113	65	70	86	62	4,517
2018年比	2.34	2.34	2.14	3.09	3.00	2.24	1.75	2.33	2.11	2.24	1.69	2.17	2.26	1.79	2.38	2.08
順位	15	16	26	2	3	21	38	17	27	20	41	24	19	35	13	0

2022年末までの集計  
リリース時期不明・配信停止のアプリを除く

# カテゴリ別累計配信件数の推移

- ✓ 広報分野のアプリが、2015年から2022年において常に最も多いカテゴリとなっている。
- ✓ 全てのカテゴリにて増加傾向にあるが、防災に関するアプリの累計配信件数の増加が顕著である。
- ✓ 子育てに関するアプリも大きく増加しており、母子手帳の電子化などコロナ渦における子育て支援サービスのオンライン化の需要の高まりが背景として考えられる。



2022年末までの集計  
リリース時期不明・配信停止のアプリを除く

# まとめ

- ✓ 自治体アプリの配信は増加し続けていおり、全国の市区町村の88.8%がアプリを配信している。
- ✓ 自治体アプリの新規配信件数は、過去2年間で2.23倍、累計配信件数は、過去5年間で2.08倍になっている。
- ✓ 過去5年間の累計アプリ配信数は47都道府県の68.09%にあたる32都道府県で2倍以上に増加している。
- ✓ 自治体アプリ配信数増加の背景には、総務省を中心にDXを推進していることが影響していると考えられる。
- ✓ カテゴリ別配信総件数においては、広報が最も多く、次いで、防災や子育てなど、生活に根ざした分野のアプリの配信が増加している。